

平成27年度計画重点項目

◆社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

高等教育機関を取り巻く社会情勢の変化や、地域及び時代のニーズに的確に応えるため各キャンパスにおいて、大学改革を着実に推進していく。

- 出雲キャンパスでは、平成28年度に開設する大学院看護学研究科の設置計画を着実に履行するとともに、入学定員を充足する。松江キャンパスでは、本学の将来構想（4年制化）実現に向け、県の検討状況を注視し適切に対応する。さらに浜田キャンパスでは、島根県立大学支援協議会からの要望を踏まえ、将来構想（魅力向上策）について検討する。（No.1）

◆地（知）の拠点整備事業の着実な実践

島根県立大学憲章に謳う「地域のニーズに応え、地域と協働し、地域に信頼される大学」の実現を目指し、文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学COC（Center of community）事業）」を着実に実行する。

- 「しまね地域マイスター認定制度」の開始＜教育＞、「9月連携会議」を経た「しまね地域共育・共創研究」の推進＜研究＞、遠隔講義システムを利用した公開講座の実施＜社会貢献＞など、「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業を着実に実行する。（No.46, 54）

◆学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

激化していく大学間競争に生き残るため、継続して学生募集活動に注力するとともに、多様化する学生に対して、小規模な本学の特性を生かし、入学から就職に至るまでのきめ細かな支援体制を構築する。また、社会的な要請である教育の質保証の観点も踏まえつつ、本学の特色を打ち出していくため、教育内容の充実を図る。

- 志願動向、入学者の学力分析を踏まえた上で、高校訪問の充実等の学生募集活動に注力する。特に、浜田キャンパスでは、新たに導入した入試制度の検証を行なう。（No.2, 3）
- 教育内容の充実を目的に、国際的に通用するGPAの導入を3キャンパスで検討する。（No.13, 24）
- 出雲キャンパスでは、平成27年4月に設置する別科助産学専攻の教育プログラム（カリキュラム）について評価を行ない、改善に繋げる。（No.16-2, 16-3）
- 学生支援の充実を目的に、よりきめの細かい学生相談体制を構築する。特に、松江キャンパスでは、支援を必要とする学生について情報共有の強化を図り、早期発見につなげる仕組みを検討する。（No.32）
- 変化する就職環境に的確に対応していくため、就職活動開始時期の後ろ倒しへの対応策やキャリア支援プログラムの検証を行う。特に、業界研究や仕事の実践的な学びの場としてインターンシップを重視するとともに、自治体ニーズの把握や「公僕学舎」の取り組み強化など公務員受験対策の充実を図る。（No.9, 10, 35）

◆国際交流、海外留学等の促進

島根県立大学憲章に謳う「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を実現するため、グローバル人材の育成に引き続き取り組む。

- 平成26年度に新設した「国際交流センター」を中心に、全キャンパスの学生が交流可能なプログラムを実施する等、国際交流事業を積極的に推進する。（No.60, 61, 65）
- 交流協定大学・研究機関の間で、NEARセンターは国際シンポジウムの開催、共同研究事業等の学術研究交流の実施を通じて一層の交流を図る。（No.60）
- 浜田キャンパスでは、学生の留学へのインセンティブを高めるため、平成27年度から海外語学研修授業として、「海外英語研修」に加えて「海外韓国語研修」を新たに開講する（No.61）
- 在学生に対して、留学情報を積極的に公開し、海外留学を促進するとともに、高校生に対しても国際交流の取組みについて情報発信を行ない、本学の特色をPRする。（No.63）